

県政報告

谷久浩一

うらかな春の日和、皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

おかげさまで、昨年の統一地方選香川県議会選挙以来、県議として無我夢中で走り続けたこの一年。

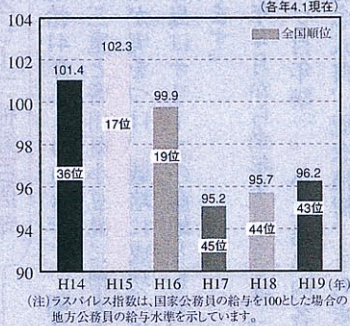
たくさんのご支援、ご声援をいただきながら、常にふるさとの未来を思い、力いっぱい議員活動しております。

一層大きくなった責任をしっかりと感じ、これからも県政に挑みます。

皆さま、応援よろしくお願いたします。



職員の給与水準(ラスパイレス指数の状況) (各年4.1現在)



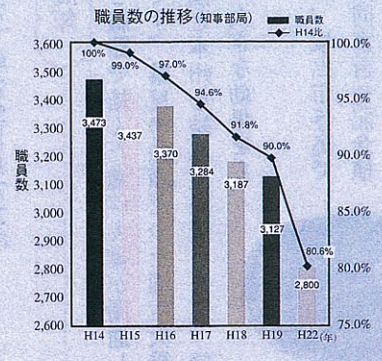
執行部とともに、
行財政改革に取り
組んでまいり
ますので、皆さ
まのご理解とご
協力をお願いします。

県では、「元気で全国一少数精鋭の県庁を目指す」をスローガンに、今後の行財政改革の取り組みの方向性などを定めた、「行財政改革推進のための基本指針」を、平成20年度からスタートします。

基本指針では、仕事のやり方の見直しなどによる業務の効率化、職員の能力や実績を人事・給与へ厳格に反映した実力主義の徹底、将来にわたり持続可能な財政構造への転換などを盛り込むとともに、職員数を削減し、知事部局では3年後に職員を全国一少数の2800人体制にする目標を定めています。

自民党議員会としても、厳しい財政状況の中、執行部とともに、行財政改革に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

行財政改革を推進します



プロジェクトチーム研修

地域活性化と地域経営

人口の減少や少子高齢化や、都市と地方の格差などの問題が深刻になっています。地域活性化の方針も、地域の環境変化に対応しなくてはなりません。地域の現状を踏まえ、全国のまちなぎりの成功事例などを紹介しながら、地域振興プロジェクトの成功に必要なものは何かを探りました。



教育改革

教育基本法の改正に伴い学校教育法など関連三法の改正が、平成20年4月1日から施行されています。今後の教育改革の動向について、変化の激しい社会の中で「生きる力」を持つ子どもたちの育成を目指す指導要領の方針や、小・中学校の教育課程の枠組み、教職員定数の改善などを紹介。これからの学校の在り方を見つめました。



森林環境の保全

県は独自課税として森林税の導入を検討中です。すでに導入している愛媛県の実績に基づき、源流の森保全などの「森をつくる」、県産材住宅普及などの「木をつかう」、県民が森に親しむ「森とくらす」の三方向から森林整備の重要性を学び、森林整備施策の拡充と新たな財源確保の必要性を認識しました。



香川の農業のあり方

香川の農業は香川大学農学部への貢献などもあり、研究開発した技術や品種の実用化が早いのが特徴です。七宝タマネギやさぬきの夢2000などの例を挙げて農業発展の経緯をたどり、消費の現状や県民の健康に言及しました。ジャンクフードを食べないこと、小学生に血液検査を実施することなどの提案を行いました。



香川県議会自由民主党議員会は、上記のテーマをはじめ、「地方分権と地方税財政改革の動向」、「建設投資のグリーン化—総合評価入札方式の可能性—」、「地下水の有効利用」、「食育について—元気野菜と元気人間づくりの話—」など合計21回の勉強会を開催しました

2月19日の本会議からインターネット中継がスタートしました。

2月19日から3月19日までの会期中に
生中継 **8,640**件、録画中継 **4,116**件
のアクセスがありました。

今後もどんどん配信していきます。詳しくは県議会ホームページをご覧ください。

議員会連絡先

- ◆ 香川県議会ホームページ
<http://www.pref.kagawa.jp/gikai/>
- ◆ 自民党香川県連ホームページ
<http://www.jimin-kagawa.jp>
- ◆ 県議会自民党政務調査会
TEL:087-832-3673 FAX:087-831-4180



議員定数を削減します

各会派代表で構成する議会改革検討委員会（尾崎道広委員長）は、議員定数を現行の45から41に削減することで合意しました。内訳は高松市選挙区で2人、さぬき市選挙区と三豊市選挙区で各1人削減します。定数削減は県議会史上初めてで、次の一般選挙から新しい議員定数となります。

また、政務調査費について、より透明性を高めるための改正を終え、20年4月交付分から適用します。

財政再建のための方策

地方交付税の削減などにより、香川県では平成20年度以降も大幅な財源不足が見込まれています。そこで、20年度から22年度までの3年間を計画期間として、新たな財政再建方策を策定しました。

具体的には、歳入面では県税収入・地方交付税の確保、県有未利用地等の売却、貸付金等債権の回収など、歳出面では500人を超える職員削減など総人件費を抑えるほか、投資的経費の抑制、管理運営経費の縮減などを柱に歳出の削減を図るとともに、安全・安心の確保、地域の活性化などの分野に財源を重点配分し、将来にわたり、夢や希望の持てる郷土香川づくりを目指します。

**安定した潤いある県民生活を第一に、
自民党議員会は、政務調査活動をはじめ
日夜、さまざまな活動に取り組んでいます。**

今年の香川はメモリアルイヤー

明治21年（1888年）に第3次香川県が誕生して120周年を迎えました。折しも、今年は県にとってはいろいろな歴史的事業が節目を迎えます。財政状況が厳しい中であっても、県民の英知を絞ってふるさとの活性化を考えましょう。

★オリーブ植栽百周年

明治41年（1908年）、明治政府の肝いりで鹿児島、三重と香川県小豆島に植えたオリーブは、小豆島だけが実をつけ、栽培に成功。以来、ちょうど1世紀、小豆島はオリーブの産地として、産業、観光に貢献しています。

今年4月から来年3月までは「オリーブ百年祭」。小豆島島内各地で記念式典、記念植樹、まち歩きツアー、オリーブ検定など、さまざまなイベントを展開します。



★世界麺フェスタ2008 in さぬき 〜シルクロードは麺ロード〜

5月3日〜6月15日（前夜祭5月2日）
世界の国々で、それぞれのカタチで育まれてきた麺をテーマにシルクロードの国・都市からゲストを迎え、知恵や技術そして心の国際交流が行われます。各国の麺や全国の麺どころから麺が集まるほか、シンポジウムや音楽祭などが開催されます。

サンポート高松（5/3〜5/6） 総本山善通寺（6/13〜6/15）
ほか TEL（087）825-11720

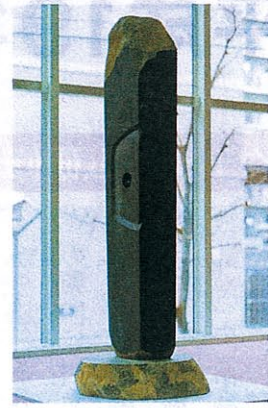
★瀬戸大橋開通20周年

四国と本州を道路と線路で結んだ瀬戸大橋が開通してから今年で20周年です。県民の悲願だった瀬戸大橋も成人式を迎え、四国と本州を結ぶ大動脈として、経済、生活、文化などに大きな効果をもたらせています。

開幕式典は4月12日、坂出市与島で香川・岡山県代表の共同宣言や記念植樹、翌13日は橋上マラソン、ウォークなど多彩なイベントを実施しました。



文化遺産を生かし 心豊かな県民生活を



今年香川県の「文化芸術
振興元年」です。昨年の11月
県議会にて「文化芸術の振興によ
る心豊かで活力あふれる香川づ
くり条例」(文化芸術振興条例)
が成立しました。

わが郷土香川には、世界遺産
登録を目指す四国遍路など地
域固有の文化があります。現
代アートの宝庫ともいわれ、直
島地中美術館、イサムノグチ庭
園美術館や猪熊弦一郎現代美
術館には、国内外から多くの観
客が訪れています。4月には香
川県立ミュージアムもリニューアル
オープンしました。2010
年には瀬戸内海を舞台に瀬戸

内国際芸術祭(仮称)が予定さ
れています。

恵まれた文化芸術資源を生
かし、心豊かな県民生活と観
光や産業の振興による地域活
性化を実現していきます。

県民生活を支える 道路の整備

道路は、県民生活や経済活
動を支える最も重要な社会基
盤であり、県民にとって必要



な道路は、これからも整備し
なければなりません。また、
本県の人口当たりの交通事故
死者数は、全国ワースト4位
と、一昨年のワースト1位か
らは脱却できたものの依然と
して多く、極めて憂慮すべき
状況にあります。

このため、慢性的な交通渋
滞が発生している東讃や西讃
の国道11号をはじめ、県内の
幹線道路について、バイパス
整備や現道拡幅、交差点改良
などの整備を進めます。

また、安全で快適な生活空
間を確保するため、自転車歩
行者道等の交通安全施設の整
備を推進します。

企業誘致促進

地域の活性化のため、雇用
の場の提供や人口減少対策に
もつながらる企業の誘致が重要
です。県では、昨年「香川も
のづくり産業振興計画」を策

定し、すでに県内にある造船、電気、食料
品産業などを核に、今後5年間で1000件
の企業立地と20000人の新規雇用を生み
出そうとしています。

このため、拡張計画のある企業情報を集
めるとともに、県内の市町と協力して、立
地に不可欠である工業用地や人材の確保に
努めています。こうした企業へは何といっ
ても素早い対応が必要であり、県庁内にワ
ンストップサービス窓口や庁内連絡組織を
設け、きめ細かなサポートをしています。
今後とも、県とともに、機会を捉え、香
川の素晴らしさを訴えていきたいと考えて
います。

谷久こういち

〒761-4122

香川県小豆郡土庄町上庄1376-1

TEL:0879-62-0851

FAX:0879-62-5773

E-mail:tanihisa@taniko.jp

URL:http://www.taniko.jp